



令和8年4月10日 お花見に集まった「夢・桜ふぶきの会」の皆さん

泰阜村 議会だより

3月定例議会ピックアップ……………	2
委員会報告 ……………	3
一般質問 ……………	4～7
議員表彰 / 議員の辞職について ……	7
主な事業ピックアップ ……………	8

No. **22**
2026.4

3月定例議会ピックアップ

3月5日～24日

○令和8年度予算を可決

一般会計予算総額 26 億円をはじめ、特別会計 4 会計及び簡易水道事業会計のすべてを提案どおり可決しました。一般会計は、前年度比 19.3% 増の大型予算となりました。なお、令和 8 年度の主な事業などの詳細については「広報やすおか」をご覧ください。



○非課税世帯のエアコン設置に補助

非課税世帯および生活保護世帯で新規にエアコンを設置する場合に 3 分の 2 を補助します。これは、県の補助事業を取り入れて行うもので、上限事業費は 73,000 円です。その経費を当初予算に計上し可決しました。(487 万円)



○林道千遠線村内区間の舗装工事を実施

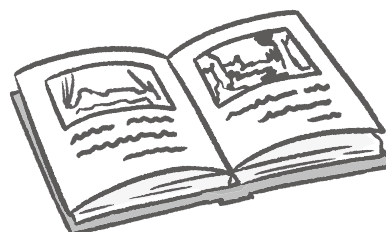
令和 5 年度に全線開通した林道千遠線の村内区間の舗装工事と側溝整備を 8 年度から実施します。

8 年度は村内区間 3.6km の内 800 m 程を実施し、5 年計画で実施します。この経費を当初予算に計上し可決しました。(4,810 万円)



○泰阜村誌の近代版の編纂事業を開始

現在の村誌が編纂されてから 42 年が経過したため、5 年計画で近代誌の編纂をする経費を当初予算に計上し可決しました。8 年度は編纂委員の構成、資料の整理などを行います。(482 万円)



○消防団に機能別消防団員制度を導入

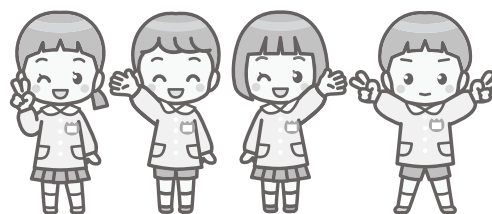
消防団員の減少により消防活動に支障がないよう、定年により退団した者が 50 歳まで機能別消防団員として団に所属します。主な活動は火災などの有事の際の出動や予防査察などで、強制ではなく本人が同意した者のみとします。

(消防団運営経費
総額 1,650 万円)



○保育所で「こども誰でも通園」を導入

子育て支援の一環として、こども家庭庁の指針である「こども誰でも通園」を導入します。これは親の就労の有無にかかわらず、保育所を利用できる制度です。これに係る新たな条例の制定が上程され可決しました。



委員会報告

総務常任委員会

開催日 3月11日(水) 13時30分から15時30分まで

委員会審査案件

①当初予算の規模と財政健全性について

令和8年度予算は前年度当初予算と比べ約4億円増の積極予算となっている。歳入について財政調整基金等の取崩しを見込んでいるが、財政健全性の維持はできるものと判断している。予算の執行段階においても適切な執行に努めていく。

②もりもりの森手洗い場及びトイレ設置について

衛生環境整備のため、平島田旧金田邸の隠居所等を撤去し、その跡地に手洗い場とトイレを新たに設置する。

③誰でも通園制度の利用方法について

令和8年度から保護者の就労の有無や利用目的に関わらず、0.5歳以上～3歳未満の子供さんも保育園に通えるようになった。これは子育て世帯の孤立化や不安解消を目的とした施策で、当面、月30時間(村外者:月10時間)を限度とし、利用料金は時間当たり125円で利用できる。

④不法投棄対策カメラの設置状況とその効果について

県道1号線を主とし、不法投棄が見られた場所に設置してきた。その結果、明らかに不法投棄の減少がみられた。今年度も必要な個所にカメラ設置を進める。

⑤泰阜荘の建替え計画について

泰阜荘は建設後30年以上経過している。一方で、役場建物も建設後50年以上経っており、両建物の更新については事業費や建設時期等の比較検討を行っている。

⑥温田地区の消火栓運用と湯水期の対応について

今回の建物火災に際し、消火栓の利用や線路を超えてのホース確保が出来ないなど課題が残った。天竜川からの取水も行った。南簡易水道は通常時は二か所から取水を行っており、湯水期には万古川から取水して断水が起らないようしている。

その他計17件の質疑応答を行いました。

建設産業常任委員会

開催日 3月10日(火) 13時30分～15時50分

・竹林整備粉碎機の使用と薬剤の使用

竹専用の除草剤があり、村道は村で除草を行った事例がある。その他の箇所については道路愛護会育成費で対応いただきたい。破碎機は村で補助しているので利用していただければと思います。

・金野辺地ほか5辺地の辺地債について

辺地計画を立てることで起債を借りられる。国の基準に合う地区の計画を立てた。

・消防団員の採用拡大について

この3月末で消防団員10数名の方が定年で退団され、今後も減少傾向であるので、今度機能別消防団を創設し希望者を募っている。50歳までが対象となる。

・あいパークやすおかの駐車場整備について

令和8年度予算に計上しているが、候補地については検討中である。

・商品券の利用範囲について(なんぐうマート使用可能)

商品券は、村民のためと村内商工業者の振興がある。なんぐうマートは泰阜村も支援しており、また泰阜村商工会に入っている所以で村内業者と同じく使用できる。

・空き家の利活用について

先月アンケートを取り、結果を村のホームページで公開している。空き家総数125件、取引可能空き家が35件となっている。しかし、水廻りの改修などが高額な物件など実際にすぐに住む事のできる空き家は少ないのが実情である。

ほか19件の質疑応答を行いました。



泰阜村消防団 今後の 団員減少に伴う団員確保 に向けての対応策、又 待遇の改善等について

影原政司 議員



村の未来を左右する 人口推移。村長が抱く最大の懸 念事項は？

坂本和男 議員

①新年度から発足する機能別消防団員の設置に対する経緯、概要について。②団員の人数、又 実際の活動内容等について。③有事の際、近隣市町村との連携、日頃の活動について。④女性消防団員の確保に向けて。⑤防災訓練等で自主防災会と連携した初期消火の体験を行う。



質問

泰阜村の人口将来推移では 2045 年に総人口が 1,000 人を割る予測です。村長が危惧されるポイントを教えてください。



質問



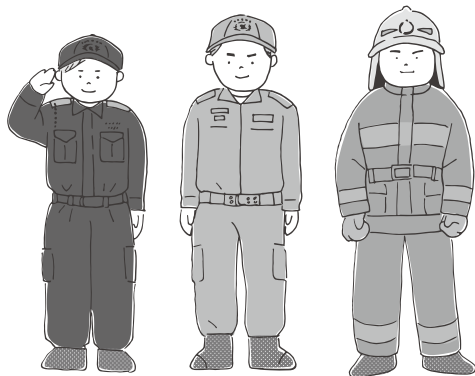
答弁

総務課長 消防団員減少に歯止めをかける有効的な対策はありませんが、新たに「機能別消防団」を創設します。分団作業や予防査察において消防団員の負担が軽減されること、また、火災時の出動人員の確保が期待されます。3月相次いだ火災において、初期消火の重要性が再認識されました。消防団員が核となり、機能別消防団員とともに、自主防災組織と連携した初期消火訓練、個人宅における消火器のあっせん等の予防消防に努めていきます。



答弁

村長 人口減少に伴い当然ですが新たな課題が出てまいります。例えば、集落機能が低下し道路愛護ができなくなったり消防力が低下するなどありますが、もっとも危惧していることと言えば、少子化により学校運営ができなくなってしまうということです。このことによりさらに人口が減少し、村の存続が危ぶまれるということです。



中学校給食の無償化について



長原佳二 議員

令和8年度から小学校の給食が無償化になり国の方針では中学校給食も順次行っていくという事です。しかし、今の世界情勢から見ると燃料費の高騰により異常な物価高が予想されます。国の方針に先駆けて子育て支援対策・物価高騰対策として中学校給食を無償化に出来ないか伺います。



質問

泰阜村の村政の今後について



田本定義 議員

長年にわたり泰阜村の総合戦略にたずさわってきた村長。村の責任において農林業公社を立ち上げました。公社の経営を軌道に乗せることにより多方面に相乗り効果が出てきます。公社に肉づけをし前に進めて行けるのは横前村長であり、横前村長でなければならないと思います。横前村長の決意を問います。



質問



答弁

村長 教育費に係る費用はその多くが無償化されてきております。こうした中、子育てとは何かと考えた時、親子の絆、結びつきほど大切なものはないと思っています。給食費を全額公費で負担することでその絆が無くなるとは思っていませんが、公費ではない部分を残すことも大事ではないかと思っています。今後、保護者の皆さんと懇談をする中で、柔軟に取り組んでまいりたいと思います。



答弁

村長 農林業公社については、荒廃していく耕地を守り、持続可能な村にするための取り組みであり、今後の運営については誰でも取り組めるものと考えています。その上で、8月に任期を迎えます村長としての進退についてですが、皆さんから色々なご意見をいただいております。もう少しお時間をいただいて、考えさせていただきたいと思っています。





令和8年度 学校関係の予算 について

林 博司 議員

義務教育に係る費用に関しても、高齢者福祉と同様に行政の負担とする方向に舵を切って頂きたい。その上で、①泰阜学の目的と村民参加。②部活動のクラブ化に伴う経費の支援策。③放課後の子供預かりと学習支援。④学校給食の無償化。⑤中学校の特別支援教室。⑥もりもりの森の手洗い場設置。につき概要を尋ねます。



質問



答弁

教育長 泰阜学園構想は、保育所、小学校、中学校が連携して子どもの教育をすすめていくというものです。それぞれに予算を確保させていただきましたが、特に小学校では美術館関係と村に出ていく費用を、中学校は「探究」に係る費用を計上しました。

部活動については、公認クラブとして認定する予定の二つのスポーツクラブへの支援として、必要経費の8割まで補助する予定です。なお、これは8年度に限った予算措置です。

放課後の子ども預かり事業「いってきました」は引き続きグリーンウッドさんをお願いします。また、中学校に公営の塾を開設します。そのための予算を計上しました。

学校給食は、国の補助金のみでは間に合いませんので、残る部分についても公費支出とし、全額無償化とします。中学校については、従来通り半額助成とします。なお、物価上昇分については補助すべく予算計上しました。

中学校の特別支援教室は、開設の方向で施設の準備をすすめたいと考えます。

平島旧金田邸裏山の「もりもりの森」について、現在危険性を増している長屋、蔵、隠居所等の解体と、トイレの設置を予算計上させていただきました。



泰阜村未来づくり 指針 2026(総合 計画)に込めた思 い

宮下照明 議員

「泰阜村未来づくり指針 2026」は今までは「総合計画」という名前でした。

基本方針は「ひとりひとりが幸せを実感し笑って暮らせる村づくり」とされています。

以上を踏まえ、以下について伺います。

①ネーミングや基本方針に込めた思いや考え方。②村として最上位計画という位置づけに加え、村民を含む泰阜村全体を巻き込むものとしての意味合いを持つのか。



質問



答弁

①**答弁：村長** 10年先を正確に描くことは難しい時代であり、村民の皆さんとともに時代の変化をしなやかに生き抜くための羅針盤であり方向性を示すものです。

②**答弁：副村長** これからの激動の時代を未来に向けて乗り越えていくため、「緩やかな指針」としての位置づけや、「村民全体でつくっていく村の新しい基礎を築いていくための、プロセス」をデザインするものとして策定いたしました。





子どもを望みながら授からない方への支援について

野々山直美 議員

子どもを望みながら授からない方への支援内容や、地域の中で孤立しないための取組みについて教えてください。



質問



答弁

住民福祉課長 「子供を授かる努力をする」ということは大切なことなので、村も当然支援します。具体的には、「不妊治療」に対する助成の他、相談支援も実施しますし、「子供を持たない」という選択も当然に尊重します。



議員表彰

このたび田本定義議員および木下幸宏議員が多年にわたる地方自治発展への貢献により、長野県町村議会議長会から町村議会議員表彰（在職10年以上）を受賞されました。



令和7年12月の泰阜村議会定例会初日に議長より表彰状が贈呈されました

議員の辞職について

令和8年3月31日付けで野々山直美議員から一身上の都合により辞職願が提出されました。

地方自治法第126条ただし書の規定に基づき、同日、議長においてこれを許可しました。



令和8年3月24日
3月定例会（継続会）終了後に議場にて

主な事業ピックアップ

12/16 火

令和7年 泰阜村商工会との懇談会

商工会と議会との懇談会が開催されました。冒頭で商工会事業の現状報告があり、その後グループに分かれて「支援制度・補助金」をテーマに意見交換を行いました。



懇談会冒頭に挨拶をする早野商工会会長

1/11 日

令和8年 泰阜村消防団出初式

屋外で閲団が行われた後、室内に場所を移し、村長あいさつ・団長訓辞・表彰及び感謝状授与・来賓祝辞等がありました。式典終了後に新年会がありました。



屋外で行われた泰阜村消防団の閲団

1/29 木

令和7年度 南部地区議会 研修会・交流会

研修会では青崩峠トンネル（仮称）の現状を視察しました。青崩峠道路は国道152号の通行不能区間を解消するための事業です。令和7年3月に本杭工事が完了し、現在設備工事を推進中です。研修後、天龍村福祉センターで交流会を行いました。



青崩峠トンネル内の県境で集合写真を撮影

2/2 月

令和7年度 飯伊市町村議会議員研修会

飯田市議会主催で飯田市鼎文化センターにて行われました。

講師に（株）廣瀬行政研究所代表取締役の廣瀬和彦先生を迎え「議員が守るべき政治倫理」と題した講演がありました。



講演をする廣瀬和彦先生

編集 後記

リニア中央新幹線、待望の静岡工区、着工が決定した様です。これで全工区の工事が順調に進めば開業時期も明確化するでしょう。リニア中央新幹線開業を見据えて、幅広い分野で人々の交流、動向が期待されます。長野県駅も具体的プランも見えてきました。開業に向けてのワクワク感が増してきました。

影原 政司